



奈良21世紀フォーラム会報

2006年新年号

これらの写真は平成17年11月4日に「大極殿正殿復元整備の特別公開」(第3回)時に撮影したものです。大極殿の完成は2010年の予定。

2005年の活動記録

- 3月8日 ハイビジョン映像「究極の墨の色を求めて」を完成、デジタルコンテンツ協会へ
収めるとともに発表会を開催（於 奈良県文化会館 120名参加）
- 3月26日 清澄の里「栗」にて大和野菜を賞味
- 4月2、3日 奈良県文化会館で開催された「暮らしと環境フェスティバル」に源流館と共同で
ブース展示
- 5月14日 平成17年度通常総会開催（於 元興寺）
- 8月13日 アジアサッカーフェスティバルに「万葉けまり」が参加（於 長居球技場）
- 9月11日 「循環・共生・参加の地域づくりシンポジューム」で（於 川上村源流館）
当フォーラムは高原野菜と川上村特産のコンニャクを販売、収益金を森守募金へ
- 11月10日 京都の錦市場「かね松」にて「京野菜の長寿食」を賞味

2006年の活動予定

- ・3月に、毛筆で書くことを楽しくするデジタル映像ソフト「書くことに楽しさを求めて」の試写会を開催予定
- ・平成18年度の通常総会を5月13日（土）奈良市菅原町「喜光寺」にて開催予定
- ・森と水の源流館の事業計画への参画。吉野川・紀の川流域の各ボランティア団体、流域の高校・学生等に参加協力を要請し、吉野川・紀の川クリーン作戦を展開したい

吉野川源流の森における活動

10月から11月にかけてNPO会員の森守募金への協力に18名が募金。また、募金のためのチャリティバザールを開催。

ご協力いただいた方々は(順不同、敬称略)
米谷文子、田辺玄子、新本保子、早川真寿美、
栗井一夫、扇谷泰之、北条和子、上北征夫、
志野存代、鈴鹿満子、植村脩、小南桂作、谷口
通治、新子静雄、福島重博、足立精宏、同夫人、
奥野進二、同夫人の皆さんです。

また、11月3日には源流の森保全の拠点となる山小屋が建てられました(12月5日完成)。



(本NPOより小南、中川両会員が参加された)

アジア・サッカー・フェスティバルに「けまり」が参加

8月11日から大阪の長居スタジアムで開催されたアジアンサッカーフェスティバル2005 in Osaka に、わが「万葉けまり」が参加し演技を参加者に披露した。この大会は、国際女子、国際ユースサッカー、ジュニアやキッズの試合など、まさにサッカーフェスティバルであった。

なお、参加予定の11月6日の「四天王寺ワツ」は残念ながら雨のために中止となり、同21日に60団体が集まり、残念会＆慰労会を開催した。



(9月11日 野菜を売って収益金を募金へ。足立夫妻、奥野夫人、お嬢さん、事務局の大辻、樋原、安細理事が参加)



(整列した万葉けまりのメンバー)

【食文化シリーズ】

究極の京野菜を食べに行こう

老舗がやっている「やお屋の二かい」で京野菜の長寿食をいただくという趣向です。11月10日、総勢29名が参加。今回は京都まで足を伸ばし、錦市場の「京野菜かね松」へ



まず、やお屋の店主、上田耕司氏より、京野菜のお話を聞く。この店で扱っている野菜は「地産地消」でほとんど京都市内で作っているもの。なにしろ京都は山に囲まれ大昔から人糞など郊外に捨てるしか方法がなく、お公家さんのもたっぷりと入っている。おかげで土地は肥えており農薬使用量は少ないとのこと。



京野菜は季節のもので、例えば「マツタケ」がおいしいのは、金木犀の花が咲くころ、筍は霧島つじが咲くころ、九条ネギは冬のものなどなど。



店主の上田さんは「京野菜を楽しむ」という本を出すほどの思い入れと話し上手。



本日の献立:揚げ物(椎茸の詰め揚げ、大葉の香り揚げ)
炊きもの(小芋、お揚げ)小鉢(ゴマ豆腐にわさび)和え物
(小松菜、えのきのおひたし)汁物(キャベツ、しめじの麦みそしる)ご飯(菊ご飯)香物(漬物と箸休め)最後にデザート



毛筆で書くことを楽しくするデジタル映像ソ

フト「書くことに楽しさを求めて」を製作中

この映像ソフトは「デジタルコンテンツ協会」の支援で当フォーラムが制作し、昨年3月に完成した「究極の墨の色を求めて～古都奈良の墨づくり～」の素材を再構成したものです。

日本における墨の歴史や伝統的な技法で今も墨づくりを続ける奈良の工場や毛筆づくりの模様や生活の中に生きる書を紹介するほか、



(墨づくり)

中学生が和紙に書いた漢字・仮名の多彩な墨の色をパソコンに取り込み、プリンタによって、Tシャツなどに忠実に再現することや書道の授業風景など新しい表現も紹介します。



(生活に生きる)

さらに、なぜ奈良県に日本で最初に中国の漢字が導入されたのか、それを奈良の子供たちが今日学ぶことによりどのように意義があるかを分かりやすく解説し、書く楽しさを知つてもらう映像ソフトに仕上げつもりです。上映時間は約20分を予定しています。撮影を昨年11月より開始し、今年3月に完成する予定です。完成後、小・中学校の書写の副読本ビデオや外国人に書を理解してもらうビデオとして活用してまいります。



今年3月には試写会を開催したいと考えておりますので、ご参加くださるようお願いいたします。

なお、この企画作成にあつては 奈良県小・中学校書写教育研究会会长で、桜井市立桜井小学校の平井利子校長先生の企画協力を頂いています。

編集 大辻康夫、安細恭弘理事、池辺忠男理事

発行 NPO 奈良 21世紀フォーラム

〒630-8114 奈良市芝辻町4-3-1 ラックエリア橋本ビル5F

Tel&Fax 0742-35-7007 E-mail nara21c@r5.dion.ne.jp

ホームページ <http://www.h7.dion.ne.jp/~nara21cf/>